

日光国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム 2025 令和 7 (2025) 年度評価の概要 (案)

1 達成率の考え方

達成率は下表の基準で評価

※達成率=実績値／目標値

評価	要件
A (概ね順調)	達成率※が 80%以上
B (やや遅れている)	達成率※が 50%以上～80%未満
C (遅れている)	達成率※が 50%未満

2 数値目標

(1) 国立公園での一人当たりの日本人観光消費額 (単位 : 円) 出典 : 令和 6 年度国立公園満喫プロジェクト推進業務報告書

	R1 (2019) 基準値	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
日光国立公園	22,921	25,593	26,000	42,174
8 公園平均	27,866	31,604	28,546	59,164
達成率	82.3%	81.0%	91.1%	71.0%

【評価】 B
(やや遅れている)
達成率(71.0%)

※R2(2020)年、R3(2021)年については、新型コロナウイルス感染拡大のため、調査は行わなかった。

R6(2024)年の調査は、R5(2023)年までの調査とは設問内容・集計方法が異なるため、8公園平均と
の比較を行った。

【達成状況】

- ・日本人消費額の全体は、8公園平均を下回っている。
- ・R6年の全体消費額は8公園平均に対して71.0%となっており、R5年（91.1%）、R4年（81.0%）
やR1年（82.3%）と比較すると、8公園平均との差は拡大している。

(2) <参考値>国立公園での一人当たりの外国人観光消費額 (単位 : 円)

出典 : 令和 6 年度国立公園満喫プロジェクト推進業務報告書

	R1 (2019) 基準値	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
日光国立公園	37,081	—	52,088	157,143
8 公園平均	65,046	—	62,273	186,481
達成率	57.0%	—	83.6%	84.3%

【評価】 A
(概ね順調)
達成率(84.3%)

※R2(2020)～R4(2022)年については、新型コロナウイルス感染拡大のため、調査は行わなかった。

R6(2024)年の調査は、R5(2023)年までの調査とは設問内容・集計方法が異なるため、8公園平均と
の比較を行った。

【達成状況】

- ・R6年の全体消費額は8公園平均を下回っている。
- ・R6年の全体消費額は8公園平均に対して84.3%となっており、R5年（83.6%）やR1年（57.0%）
と比較すると、8公園平均との差は縮小している。

(3) <参考値> 国立公園観光入込客数・宿泊数（単位：万人）出典：栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果（国立公園外の地域を含む）

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7(2025) (目標値)	【評価】B (やや遅れている) 達成率 ・入込客数 76.8% ・宿泊者数 81.5%
入 込 客 数	実績	1,904	1,202	1,035	1,348	1,466	1,463	1,904	
	達成率	—	63.1%	54.4%	70.8%	77.0%	76.8%	—	
宿 泊 者 数	実績	628	342	352	445	499	512	628	【評価】B (やや遅れている) 達成率 ・入込客数 76.8% ・宿泊者数 81.5%
	達成率	—	54.5%	56.1%	70.9%	79.5%	81.5%	—	
(参考)宿泊率		33.0%	28.5%	34.0%	33.0%	34.0%	35.0%	33.0%	【評価】B (やや遅れている) 達成率 ・入込客数 76.8% ・宿泊者数 81.5%

※福島県下郷町、西郷村、群馬県片品村については、国立公園区域外も含む。

【達成状況】

- ・入込客数は、2025年目標に対し、76%に到達
- ・宿泊者数は、2025年目標に対し、81%に到達

(4) <参考値> 訪日外国人日光国立公園利用者数・宿泊者数（単位：万人）出典：令和6年度国立公園満喫プロジェクト推進業務報告書

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7(2025) (目標値)	【評価】A (概ね順調) 達成率 ・利用者数 152.9% ・宿泊者数 138.7%
利 用 者 数	実績	28	—	—	6.2	33.4	42.8	28	
	達成率	—	—	—	22.1%	119.2%	152.9%	—	
宿 泊 者 数	実績	15.7	2.6	0.5	3.7	17.9	20.8	15	【評価】A (概ね順調) 達成率 ・利用者数 152.9% ・宿泊者数 138.7%
	達成率	—	—	—	24.6%	112.6%	138.7%	—	
(参考)宿泊率		56.1%	—	—	59.7%	53.6%	48.6%	53.6%	【評価】A (概ね順調) 達成率 ・利用者数 152.9% ・宿泊者数 138.7%

※2022年利用者数は下半期のみの集計。

2020年、2021年は外国人利用者数の調査を実施していない。

【達成状況】

- ・利用者数は、2025年目標28万人を超える42万人に到達
- ・宿泊者数は、2025年目標15万人を超える20万人に到達

3 ステップアッププログラム 2025 重点的取組について

各事業者の取組の進捗状況について自己評価に基づく評価を実施した。

目指す姿	重点的取組事項	広域	日光	鬼怒川	那須甲子	塩原	概要
上質で奥深い魅力を満喫できる 国立公園	既存施設再整備と維持管理、上質化	—	B	A	C	A	(各エリア)公衆トイレの改修・洋式化 (那須甲子・塩原) インバウンド向けプロモーション及びモニターツアーの実施
	良質な景観の保全	—	A	—	B	A	(各エリア)修景伐採の実施
	新しい利用形態や需要への対応	B	A	—	B	B	(各エリア)MAAS の販路拡大、利便性の向上などの利用促進
	人材の育成	B	A	—	C	—	(広域)認定ガイド制度の創設 (日光)ガイド資質向上のための研修の実施
体験・滞在型の 国立公園	宿泊・閑散期誘客につながるコンテンツの強化	C	A	—	B	A	(各エリア)早朝や夜に行うコンテンツや冬季誘客イベントによる誘客促進
	コンテンツの充実と上質化、情報発信・案内機能の強化	B	B	A	B	C	(広域)web サイトやSNS 等を活用した情報発信 (日光・鬼怒川)コンテンツの充実化の補助、企業と連携した情報発信 (那須甲子・塩原)自然体験メニュー等の充実
	連携強化	B	B	A	B	A	(各エリア)エリア分科会による地域課題の共有・議論
脱炭素・循環型 を実現する 国立公園	受益者負担による環境保全	—	A	—	B	C	(日光)環境保全等へ充当する仕組みの検討 (那須甲子・塩原)責任ある観光地づくりの推進
	ルール・マナーの普及啓発と適正利用	A	—	—	—	—	(広域)国立公園の利用ルール・マナーの普及啓発の実施
	脱炭素に向けた取組の推進	A	A	—	A	A	(各エリア)ゼロカーボンパーク・脱炭素先行地域の取組推進
宣传・誘客		A	S	A	A	A	(広域)海外旅行 AGT、メディア等の招聘、SNS 等を活用した情報発信
その他		A	A	—	—	—	(広域)特別企画きっぷ、「北関東周遊フリーパス」の販売

【概要】

(1) 上質で奥深い魅力を満喫できる国立公園に資する取組について

- 既存施設再整備と維持管理、上質化及び良質な景観の保全等のハード整備については、各エリアにおいておおむね計画どおり取り組むことができた。
- 新しい利用形態や需要への対応については、各エリアにおいて MAAS の販路拡大・利便性の向上などで利用促進を図るなど、計画どおり取り組むことができた。
- 人材育成については、広域及び日光エリアでは、認定ガイド制度の創設やガイド資質向上のための研修を実施し計画どおり取り組むことができたが、その他のエリアでは計画どおり取り組むことができなかつた。

(2) 体験・滞在型の国立公園に資する取組について

- 宿泊・閑散期誘客につながるコンテンツの強化については、各エリアにおいて、早朝や夜に行うコンテンツや冬季誘客イベントを実施し、誘客促進を図った。
- コンテンツの充実と上質化、情報発信・案内機能の強化については、広域では、web サイトやSNS 等を活用し、国内外に向けた情報発信を実施した。

日光・鬼怒川エリアにおいては、コンテンツの充実化の補助を行ったほか、企業と連携した情報発信を行うなど、概ね計画どおり取り組むことができた。

那須甲子・塩原エリアにおいては、自然体験メニュー等の充実化を図ったものの、計画どおり取り組むことができなかつた。

(3) 脱炭素・循環型を実現する国立公園に資する取組について

脱炭素に向けた取組については、広域及び那須甲子エリアを除く各エリアにおいて計画どおり取り組むことができた。

(4) 宣伝・誘客

広域及び各エリアにおいて、様々な方法を用いた積極的な情報発信を実施した。